

□日時：平成29年10月22日（日）13時30分～16時30分
□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第17回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会の概要報告 10/28版

- 1 開会挨拶 ……ちなもい 有馬事務局長
ご遠方から沢山の方々に参加いただきありがとうございました。物故した亡き父親からの戦争体験の聞き取りの難しさを感じた。肉親にも語れないことが、戦争の悲惨さの実態だったのだろうか。物言わぬ戦争遺跡を後世につたえ、語らせる 活動は意義のある活動であると思う。



開会での「ちなもい」有馬事務局長の挨拶

- 2 団体及び個人参加・自己紹介、今年度取り組み等の報告

(1) オブザーバー 新老人の会

○熊本支部 ……小山和作世話人代表
2000年日野原先生による新老人運動の全国運動としての提唱。新しい老人運動として、戦争を経験した世代として、語り継ぐ事の大切さを伝えている。証言や体験談の書籍刊行を行っている。これらの体験を形あるものとして、熊本に戦争資料館建設を県民運動として、ブーゲンビル島での慰霊活動で経験した活動と同様に盛り上げていきたい。



オブザーバー参加の「新老人の会」小山和作代表世話人、安藤富士記担当世話人

○戦争を語り継ぐ会 ……安藤富士記担当世話人
創設以降、例会は100回を数え、記念シンポを9/9に行った。当日資料を参照し概要説明。ご自身の戦争体験と会内容の傾向を分析する。戦争に関わる遺品を見たり、戦争体験談を聞ける場の建設が必要だと感じている。

(2) 合志の近代遺産を学ぶ会 ……赤瀬恵事務局長

2017年2月28日に会発足。黒石原飛行場の奉安殿跡の保存運動を丁寧に進めている。再春荘病院給水塔・教育勅語・合志義塾・松田農場・菊池恵風園等の合志の近代を学んでいる。資料参照の事。



初参加の「合志の近代遺産を考える会」の赤瀬事務局長

(3) 人権NPOちなもい ……有馬事務局長
人権をテーマにして、八代で幅広い活動を展開している。残された「八代の戦跡」の冊子発行や「戦跡・青い目の人形」見学会の企画を行った。ちなもい古文書会では、庶民の生活を調べる会を目的とし、発表会も企画している。

(4) 花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会 ……永田昭副代表・前田祐助顧問

平成20年度に会を創設し、給水塔の文化財指定や地域の戦跡保存を進めている。3年前に菊池飛行場ミュージアムを開設し、今夏は健軍飛行場と義烈空挺隊展を開催した。地元小学生の平和学習や見学会も頻繁に行われている。給水塔を戦争遺跡として認識する様に菊池市に迫っている。また、前田さんは戦争体験者として健康の許す限り「生の声」で語っていききたいとの思いで活動している。

(5) 荒尾二造市民の会 ……欠席
ろうきん助成金等を利用して、会員宅に二造関連資料を展示する施設開設を準備している。

(6) 人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク ……欠席
今年度「神麩原飛行場」リーフレットの作成に着手。平成27・28年度にあさぎり町教育委員会で発掘調査を行った成果を紹介、啓発する資料として無料配布の予定。

(7) 平和憲法を活かす熊本県民の会 ……吉田事務局長
昨年から新事務局長となった。戦争に関わる2/11、7/1、8/15等の節目の活動を行い、会報は月1回の発行で20年を経過した。「熊本の空襲を語り継ぐ会」「戦争遺跡を巡る見学会」等を開催している。語っていただく方々の減少が目に見えており、困難な状況もある。

(8) 上村真理子さん (宇城市)

愛国少年・少女の誕生を疑問に思い、約5000点の戦時資料の収集を行っている。8月末～9月の1ヶ月間城南図書館で展示会を開設した。多くの報道機関でご紹介いただいた。

(9) 三隅康資さん (熊本市)

学校を退職して各地の戦時資料館の見学等を行っており、4年間で71件、熊日「読者ひろば」への投稿を重ねている。平和のバトン展で上村さん資料の重要性を認識した。県内各地の団体が連携すれば、熊本に平和資料館の開設も可能だと思う。

(10) くまもと戦跡ネット

……石川理事、高谷

城南図書館での「絵本・玩具から見た戦争」展示会、上村さん講演会が開催でき好評だった。次回以降も上村さんと企画を進めていきたい。隈庄飛行場油倉庫の公費解体では、熊本市が保存を行う様になった。弾薬庫では現地展示や説明看板の移設等を行い啓発を進めたい。

欠席：熊本の戦争遺跡研究会、人吉海軍航空隊を顕彰する有志の会、牧口敏孝さん (合志市)

3 協議、意見交換等

(1) 最近の動向

※資料参照

ア 平成28年熊本地震に関わる戦争遺跡・戦争遺産

隈庄飛行場跡での保存・署名署名活動を進めており、12月熊本市長宛て提出予定。

イ 「福岡県戦争遺跡調査」

平成29年～31年で福岡県内のしっかい調査で国庫補助事業。これまで適切な保存が図れなかった戦跡を保存。全国的な趨勢でもあり、熊本県も範とすべき事業内容である。

ウ 熊本市画図町下無田「不発弾・M76焼夷爆弾落下傘タイプ」

「8/10の本空襲」で投下された日本本土で初投弾資料で中間報告をまとめ中。会場では、報道公開資料・米軍資料・阿久根空襲で投下された米軍空撮資料を回覧・紹介。

(2) 2019年「第23回戦争遺跡保存全国ネットワーク熊本大会」の開催 ※資料

○期日は「平成31年8月24日(土)・25日(日)、23:準備委員会、26:見学会

○会場は「熊本市国際交流会館」を仮予約済み。例年での地方大会の参加は250人程度。

○本フォーラムくまもと事務局会を母体として、12月には「第23回戦争遺跡保存全国ネットワーク熊本大会実行委員会」の発足したい。戦後70年でフォーラムくまもとと生協くまもとが共催した工藤先生「熊本空襲」講演会のイメージで実施等をしたいと考えている。各会で持ち帰り、意向確認のうえ、次回で正式決定をお願いします。

○Q:分科会の構成はいかがか?

A:三分科会の構成は「保存運動の現状と課題」「調査の保存と整備技術」「平和博物館と次世代への継承」で、各分科会8～10本の発表となる。長野県本部と地元運営委員会の共同運営で、各分科会司会は運営委員が担当する。

Q:発表等はどの様になるのか?

A:全国の会員が発表する。熊本大会であるので、地元各団体から発表頂けたらありがたいが、運営にも携わるので無理しないで良いと思う。全体会では、地域発表が1本必要なので、高谷が大会テーマに沿って考えたい。また、例年であれば戦争遺跡の保存に関わる大会決議を行うので、花房給水塔問題がまだ長引くようであれば、その保存問題も上げて良いかもしれない。

○持ち帰っていただき、次回12月までに各会の意向を聞かせていただきたい。

[休 憩]

(3) 熊本に、戦争と平和の資料館「ピースくまもと(仮)」
設立を ※資料参照

ア 前回までの経緯等

※第12回事務局会の概要報告を参照

○熊日・射程「戦争記憶伝える資料館」「語る部の声の重み」、熊日投稿・三隅さん「熊本に平和ミュージアムを」「戦時資料収集県が率先して」高谷「不発弾発見と大空襲の記憶」を参照して下さい。

イ 高谷事務局長より、設立骨子(案)説明

ウ 意見交換

○熊本で戦時資料館をつくる意味合いを考えてはどうか。人間にとって最大の予防医学は平和である事だ。



高谷事務局長よりの「骨子案」説明

- 日本人同士最後の内戦である西南戦争も貴重な歴史。
- 西南戦争に関しては、熊本市立田原坂資料館等もあり、展示内容的に重複する部分もあるのではないか。既に国指定史跡にもなり、行政が十分に対応しているのではないか。
- 小中学生の修学旅行の事前学習としての利用や高校生の平和大使の活動場面が必要だ。
- 銃後も巻き込まれた総力戦としての戦争を庶民の目線で見ることにも必要ではないか。
- 焼夷弾の傷跡が残る被弾ピアノを是非展示してほしい。心を癒やす音楽を奏でるピアノになぜ人間を殺す爆弾が重なるのかを知ってほしい。
- 子ども達や善良な市民が人間性を亡くし、戦争に向かった「教育の力」をしっかりと語るべきだ。今は8月の平和学習も行われていない。沖縄チビチリガマを荒らす事件は、平和学習の限界を示しているのではないか。
- 各地の資料館を見学して、各館に説明いただける方がおられると随分と理解が進む。また、戦争証言が聞ける事も大切だ。
- 菊池飛行場ミュージアムでは、案内ボランティアがいると何時間でも学び、話しを聞き関わる姿が見られる。そのためにも「解説者」はぜひ必要だ。またミュージアム設立して、「ありがとう」との言葉に「感謝されること」の喜びを身近に初めて感じた。自分にとって活動の原点となっている。
- 個人としては「熊本の戦争歴史」を通史する等やりたい事も沢山あるが、フォーラムとしてやれる事に絞ることが必要ではないか。15年戦争に焦点をあてて、1日も早く館を完成させたい。時間がもう無いので迅速に進めていくべきだ。
- 貴重なご意見をいただきありがとうございます。

エ 高谷事務局長試案の「設立に向けてのタイムテーブル」の説明と意見交換 ※別紙参照

- 今回の設立は、迅速に進める事が必要だ。
- 各会話し合いのたたき台として利用ください。
- 「戦争を語り継ぐ会」例会とは、別個に進めた方が良い。証言集刊行や「一新行大桜」舞台活動イベントもあるが、担当者を分担しながら進めていきたい。
- 各会で持ち帰り検討下さい。次回に意見交換、設立準備委員会設立の了解をお願いします。
- 今回の活動では、熊日・RKKをはじめとしてマスコミの応援が必要だ。十分な働きかけをお願いします。

4 その他

- 第18回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会
次回は「12月17日(日)の午後1:30から」の開催とします。
- 第4回「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」出水集会 ※資料
日時は11月25日午後1時半～、場所は出水市立公会堂、で情報交換会・見学会もあり。

5 閉会挨拶

……花房未来の会 前田顧問
ミュージアムに来館された方々の喜びの声に励まされ証言活動をしている。元気な限り活動したい。ご遠方から沢山の方々に参加いただきありがとうございます。



閉会での「花房未来の会」
前田事務局員の挨拶

問い合わせ先・連絡先

戦争遺産フォーラムくまもと
(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生
自 宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
TEL&FAX 0968 74-5030
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

□日時：平成29年10月22日（日）13時30分～16時頃

□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第17回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会 10/21版

- 1 開 会 挨拶 ……ちなもい 有馬事務局長
- 2 団体及び個人参加・自己紹介、今年度取り組み等の報告 ※各団体持参の別紙参照資料
新規でのご紹介 ○合志の近代遺産を学ぶ市民の会 ……赤瀬恵事務局長
オブザーバー ○新老人の会熊本支部 ……小山和作世話人代表
○新老人の会・戦争を語り継ぐ会 ……安藤富士記担当世話人
-
- 人権NPOちなもい ……有馬事務局長・今年度の活動様子
○熊本の戦争遺跡研究会 ……未定
○花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会 ……前田祐助事務局員・今年度の活動様子
○荒尾二造市民の会 ……山野事務局長・今年度の活動様子
○人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク ……欠席・神殿原飛行場リーフレット
○人吉海軍航空隊を顕彰する有志の会 ……未定
○平和憲法を活かす熊本県民の会 ……吉田事務局長・今年度の活動様子
○上村真理子さん（宇城市）、三隅康資さん（熊本市）、牧口敏孝さん（合志市）、
○事務局：くまもと戦跡ネット ……石川理事、高谷
①城南図書館での「絵本・玩具から見た戦争」展示会、上村さん講演会開催
②隈庄飛行場油倉庫の公費解体、「隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫保存」署名活動
- 3 協議、意見交換等
- (1) 最近の動向 ※資料
- ア 平成28年熊本地震に関わる戦争遺跡・戦争遺産 隈庄飛行場他
- イ「福岡県戦争遺跡調査」 平成29年～31年、県内悉皆調査、国庫補助事業
- ウ 熊本市画図町下無田「不発弾・M76焼夷爆弾落下傘タイプ」8/10で日本本土初
- (2) 2019年「第23回戦争遺跡保存全国ネットワーク熊本大会」の開催 ※資料
○期日：平成31年8月24日（土）・25日（日） 23：準備委員会、26：見学会
○会場：熊本市国際交流会館
○参加予定者：250人
○「第23回戦争遺跡保存全国ネットワーク熊本大会実行委員会」の発足へ
○各会で持ち帰り、意向確認のうえ、次回で正式決定を
- (3) 熊本に、戦争と平和の資料館「ピースくまもと（仮）」設立を ※資料
○前回までの経緯等 ※第12回事務局会の概要報告を参照
○熊日・射程「戦争記憶伝える資料館」「語る部の声の重み」、熊日投稿・三隅さん「熊本に平和ミュージアムを」「戦時資料収集県が率先して」高谷「不発弾発見と大空襲の記憶」
○設立骨子案の説明、意見交換
○各会で持ち帰り検討、次回に意見交換、設立準備委員会設立の了解
- 4 その他
- 第18回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会 12/16・17頃予定
- 第4回「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」出水集会 ※資料
日時：11月25日午後1時半～ 場所：出水市立公会堂 情報交換会・見学会
- その他

問い合わせ先・連絡先

戦争遺産フォーラムくまもと
(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生
自 宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
TEL&FAX 0968 74-5030
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp